

ぱるす



発行日 2014年4月10日 第30号

発行 札幌歯科医師会口腔医療センター

〒064-0807札幌市中央区南7条西10丁目
TEL (011) 512-9497 FAX (011) 511-2272

<http://www.dnet.or.jp/center>

E-mail omc-s@dnet.or.jp

発行人；福島誠人 発行責任者；藤田一雄

センターの患者さん、
佐藤光君のイラスト
です



センターの患者さん、
内田玲さんの作品です
「コブラVS悪魔」

麗春娘

たのしいお
この気持ち



ただそれだけの
ことなのに

口腔医療センター新所長 福島誠人



皆さん今日は。昨年の7月より口腔医療センター所長に就任しました、福島誠人です。
どうぞよろしくお願いいたします。

新任と申しましても実は平成3年4月から12年3月まで口腔医療センター夜間救急部に所員として在籍しておりましたので何やら古巣へと戻ってきたような気もいたします。

口腔医療センターは1973年に札幌歯科医師会が設立しました。当センターの事業は、まず開設と共に夜間救急歯科診療がスタートし、1982年に障がい者診療部、1998年には摂食外来が開設され、その後各種の講習会等活動を加えながら現在に至っています。設立以来診療技術も進歩し設備も常に最新なものに整備してまいりました。しかし、大事なことは患者さんに接する医療人としての姿勢であり、そのことをセンターに従事するすべてのスタッフがしっかりと理解している必要があることは今も昔も変わらないと思います。より安全で安心な歯科医療をめざしてセンター所員、スタッフ一体となって全力を尽くすつもりですのでよろしくお願いいたします。

「ぼるす」も平成10年6月に創刊してから早いものでもう丸12年が経ちました。発刊の一番大きな目的は当センターの診療スタッフと患者さんやそのご家族の方との情報交換の橋渡しをすることでした。今年度は記事や構成を見直してより魅力にある内容にしていきたいと考えております。

ぜひ、皆様からイラスト、写真、センターへのご意見、スタッフへのお手紙などを心よりお待ちしております。

口腔医療センター新総務部長 中尾忠篤



皆様はじめまして。昨年の7月より口腔医療センター総務部長に就任しました、中尾忠篤でございます。よろしくお願ひいたします。

札幌歯科医師会に入会してから、十数年経ちますが口腔医療センターの職に就くのは初めてでございます。夜間救急は数年ごとの持ち回りの為、経験はありましたがセンターの内部に入ることにより今さらですが、救急診療、障がい者診療、嚥下リハビリテーションなど、札幌市民のお口の健康を守るためにたくさんの素晴らしい先生方や、スタッフの皆様がご活躍されていたことに気づかされました。あらためて感謝するところです。

さて、今期2年間センターの総務部長として重責を担いますが、基本理念は昭和57年のスタート以来変わっておりません。市民が安心して安全な診療を受けられるよう、より一層のチームワークの強化と診療体制、技術の進歩に努めていく所存です。

夜間救急、障がいをお持ちの方、飲み込みなどに不自由をしている方は是非、口腔医療センターに来ていただき私どもと一緒に、お口の健康を取り戻しましょう。

2年間どうぞよろしくお願ひいたします。

第19回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会に参加して

口腔医療センター障がい者診療部 相澤 薫

日時：平成25年9月22日（日）～23日（月・祝）

会場：川崎医療福祉大学（岡山県倉敷市）

私は口腔医療センターに勤務させていただいてから、まだ1年4か月と日が浅く、当センターで毎月2回行われている摂食・嚥下リハビリテーションに関わるようになってから9か月足らずですが、この度、第19回摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会に参加させていただくという貴重な経験をさせていただきました。学会会場は岡山県倉敷市にある川崎医療福祉大学で、大変大きな規模の会場で、学会参加の方々も5千人を超える方が参加されたとのことでした。

今回の学会では、さまざまな講演や報告、ポスター発表や企業による製品展示がされており、まず何を公聴したらよいか迷ってしまうほどでした。そのたくさんの講演から、障がい者診療に関わる内容や、口腔ケア、摂食・嚥下リハにかかわることをピックアップして公聴させていただきました。

歯科の内容だけでなく、医科は勿論、介護のことや栄養のことなどなど今まで自分には身につけていなかった知識を得ることができ、ハードなスケジュールでの参加でしたがとてもよい経験をすることができました。

印象に残った公演は一般演題の中にあった口腔ケア後の汚染物除去方法に関する研究です。

私たちは普段、歯を磨いたら特に深く考えずに歯磨き粉の泡を取り除くためにブクブクうがいをしますが、実はこのブクブクうがい重要だということをご存知でしたか？

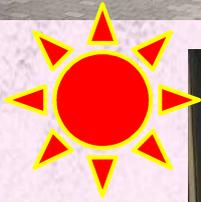
歯磨きをした後の口の中は歯や歯肉や頬粘膜から歯ブラシによって剥がされた歯垢（細菌）

食べかすがウヨウヨ漂っている状態です。うがいをして口の外に吐き出すことで口腔内の細菌が減って環境が改善されて清潔を保つことができます。（歯ブラシで除去した歯垢や食べかすを口の外に出さないと歯磨きの意味がなくなるのです）

この研究はうがいができない患者さんの口腔ケア後に口腔内の清拭タオルを使って汚染物（歯垢）を取り除いたらうがいを行うのと同じように清潔を保つことができました。という結果でした。障がい者センターでも定期健診後に歯磨きをしたり、歯石を取り除いたり口腔ケアを行っていますが、最後には必ず水で流して口の中を洗浄したり、ガーゼを使って清拭したりしています。今回知り得た情報や知識を障がい者診療部での実務に活かすことができるように、日々精進していきたいと考えております。



川崎医療福祉大学（会場）



隅田先生、及川先生、伊藤先生と記念写真（気温30度越えて暑くてちょっと疲れ気味です。。。）



岡山駅前の桃太郎像です



当センターのスタッフです。
みなさんの治療、予防、口腔ケア、
あらゆる場面でサポートさせていただきます。
どうぞよろしくお願ひします(^_^)™



～ 救急診療部からのお知らせ～

夜間の歯の痛みなど、救急処置を目的として
います。継続的な治療は受けられませんので
ご注意下さい。

(診療のご案内)

診療時間 : 19:00～23:00

受付開始時刻 : 18:30

年中無休

電話番号 : (011)511-7774

～ 障がい者診療部からのお知らせ～

障がい者診療部は**完全予約制**になっております。

(診療のご案内)

予約時間 : 火～金 9:15～17:15

診療時間 : 月 14:00～17:00

火～土 9:30～17:00

金 9:00～17:00

(午前中は全身麻酔下診療)

電話番号 : (011)512-9497